

|                                                                                                                                                                                                                                                    |                                           |     |      |               |          |       |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----|------|---------------|----------|-------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                               | 精神保健特講<br>Mental Health                   |     |      | 担当教員          | 木下 一雄    |       |    |
| 展開方法                                                                                                                                                                                                                                               | 講義                                        | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期       | 1・2 年/前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい                                                                                                                                                                                                                                             |                                           |     |      |               |          |       |    |
| <p>精神保健の領域において、精神疾患をもつ人々のとらえ方は伝統的な医学モデルから、「エンパワメント」、「リカバリー」、「レジリエンス」など、その人の体験や挑戦を尊重するとらえ方へと変化してきた。人権意識を基盤にした、人の心の不思議さやわからなさに向き合うことができ、物事を論理的に組み立てる思考ができ、幅広い知識や問題解決能力を備えた質の高いソーシャルワーカーがこれからの時代は必要になってきており、学生には現場の実践力を養成できるような実践に即した内容で展開していきたい。</p> |                                           |     |      |               |          |       |    |
| 観点                                                                                                                                                                                                                                                 | 学生の授業における到達目標                             |     |      | 評価手段・方法       |          | 評価比率  |    |
| 関心・意欲<br>・態度                                                                                                                                                                                                                                       | 文献に関連する話題、事例を示したり、他の発表に質問や意見を出したりすることができる |     |      | ディスカッションへの参加度 |          | 25%   |    |
| 思考・判断                                                                                                                                                                                                                                              | 精神保健医療福祉に関する文献を読み解き、それに関する自分の考えを示すことができる  |     |      | 課題レポートの発表内容   |          | 25%   |    |
| 技能・表現                                                                                                                                                                                                                                              | 精神保健医療福祉に関する文献を読み解き、それをレジュメとして表現することができる  |     |      | 課題発表のレジュメ     |          | 25%   |    |
| 知識・理解                                                                                                                                                                                                                                              | 文献を読むにあたり必要となる背景、知識を調べ、整理して説明することができる     |     |      | 課題レポートの発表内容   |          | 25%   |    |
| 出席                                                                                                                                                                                                                                                 |                                           |     |      |               |          | 受験要件  |    |
| 合計                                                                                                                                                                                                                                                 |                                           |     |      |               |          | 100%  |    |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明                                                                                                                                                                                                                                |                                           |     |      |               |          |       |    |
| <p>担当か所の課題発表、レジュメ作成を行う。レジュメは適切な項目をたて、内容を正確に、簡潔に、わかりやすく表現できているかを評価する。課題レポートの発表では、理解した内容、理解に困難を感じた内容について、著者の考えと自分の考えをわかりやすく伝えることができているかを評価する。発表内容はレポートとしてまとめ、提出する。課題・レポートのフィードバックは授業内に行なう。</p>                                                       |                                           |     |      |               |          |       |    |
| 授業の概要                                                                                                                                                                                                                                              |                                           |     |      |               |          |       |    |
| <p>各々が文献の担当か所のレジュメ作成と発表を行い、それを中心にディスカッションするなど文献購読の形式で、精神保健分野の「臨床における具体的な支援のあり方」、「社会福祉現場実践」について学び、理解を深める</p>                                                                                                                                        |                                           |     |      |               |          |       |    |
| 教科書・参考書                                                                                                                                                                                                                                            |                                           |     |      |               |          |       |    |
| <p>教科書：「現場」のちから 社会福祉実践における現場とは何か 尾崎 新（2002年）誠信書房<br/>「ゆらぐ」ことのできる力 ゆらぎと社会福祉実践 尾崎 新（1999年）誠信書房<br/>参考書：適宜紹介する。</p>                                                                                                                                   |                                           |     |      |               |          |       |    |
| 授業外における学修及び学生に期待すること                                                                                                                                                                                                                               |                                           |     |      |               |          |       |    |
| <p>精神保健福祉に関わる現場における実践に関心を持ち、精神保健福祉に関する情報収集を行い、知識と技術の双方向からの視点における理解について考察していく。精神保健福祉分野の現状と課題に広く関心を持ち、専門職能団体による日本精神保健福祉士全国大会や佐世保市の精神保健福祉活動などに積極的に参加して、当事者と現場の声に耳を傾け、心を寄せ、学んでほしい。</p>                                                                 |                                           |     |      |               |          |       |    |

| 回  | テーマ                            | 授業の内容                                                                      | 予習・復習                                               |
|----|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション                      | 講義の概要、進め方、評価等の確認を行う                                                        | 予習：自分の研究テーマを説明できるようにする<br>復習：研究テーマを本科目と関連付け、課題意識を持つ |
| 2  | 現場のちから<br>序章 葛藤・矛盾からの出発        | 第1節 現場とは何か<br>第2節 葛藤・矛盾を受け止める力                                             | 予習：「序章」を読む<br>復習：葛藤・矛盾をどう受け止めていくかについて考察する。          |
| 3  | 第1章<br>ソーシャルワークの経験             | 「ソーシャルワークの経験」について理解する                                                      | 予習：教科書「第1章」を読む<br>復習：ソーシャルワークの経験について理解できるようにする      |
| 4  | 第3章<br>「対話」の力と社会福祉実践           | 「対話」の力と社会福祉実践 ～言葉を相互に紡ぐことの臨床的意味～                                           | 予習：教科書「第3章」を読む<br>復習：社会福祉実践における「臨床的な意味」を説明できるようにする  |
| 5  | 第5章<br>自己決定を尊重する現場の力           | 自己決定を尊重する現場の力                                                              | 予習：教科書「第5章」を読む<br>復習：自己決定を尊重する現場の力を説明できるようにする       |
| 6  | 第9章(1)<br>社会福祉実習教育における現場の力     | 第1節 社会福祉援助技術現場実習の目標<br>第2節 他者との出会い～選択できない人間関係との対峙                          | 予習：教科書「第9章」を読む<br>復習：社会福祉援助技術現場実習の意義を説明できるようにする     |
| 7  | 第9章(2)<br>社会福祉実習教育における現場の力     | 第3節 自分との出会い～社会的諸関係の中の自分～<br>第4節 社会との出会い～生きることへの視座～<br>第5節 二項対立を超える人間存在への発信 | 予習：教科書「第9章」を読む<br>復習：「対話性」を説明できるようにする               |
| 8  | 第11章 現場の力                      | 現場のちから～生活の場において気づく援助のあり方とその気づきを得て変化する関係                                    | 予習：教科書「第11章」を読む<br>復習：現場における援助のあり方について説明できるようにする    |
| 9  | 第12章<br>現場からソーシャルワークを考える       | 現場からソーシャルワークを考える                                                           | 予習：教科書「第12章」を読む<br>復習：現場からソーシャルワークについて考えられるようにする    |
| 10 | ゆらぐことのできる力<br>序章<br>「ゆらぎ」からの出発 | ゆらぎからの出発 ～「ゆらぎ」の定義～                                                        | 予習：教科書「序章」を読む<br>復習：「ゆらぎ」の定義について説明できるようにする          |
| 11 | 第1章<br>「共感」について                | 「共感」について ～「わからなさ」と「他者性」に注目して～                                              | 予習：教科書「第1章」を読む<br>復習：「わからなさ」について説明できるようにする          |
| 12 | 第2章<br>「ゆらぎ」と私のインターフェイス        | 「ゆらぎ」と私のインターフェイスを理解する                                                      | 予習：教科書「第2章」を読む<br>復習：支援者のゆらぎについて説明できるようにする          |
| 13 | 第5章<br>「ふりまわされる」ということ          | 「ふりまわされる」ということ ～援助関係における一つの「ゆらぎ」に注目して～                                     | 予習：教科書「第5章」を読む<br>復習：援助関係の中で精神保健福祉の動向が説明できるようにする    |
| 14 | 第9章<br>時代と社会福祉実践、そして「ゆらぎ」      | 時代と社会福祉実践、そして「ゆらぎ」－「幅」・「軸」・「多様性」に注目して                                      | 予習：教科書「第9章」を読む<br>復習：精神保健福祉の動向の中で説明できるようにする         |
| 15 | 終章<br>まとめ                      | 「ゆらぐ」ことのできる力 ～「ゆらぎ」を実践に活用する方法 全体を振り返り、理論と実践について考える                         | 予習：教科書「終章」を読む<br>復習：今までの講義内容を理論と実践の中で説明できるようにする     |